

和歌山工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	国語	
科目基礎情報					
科目番号	0003	科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 3		
開設学科	電気情報工学科	対象学年	1		
開設期	通年	週時間数	3		
教科書/教材	『新編現代の国語』(数研出版)、『精選言語文化』(東京書籍)、『標準漢字演習』(とうほう)、『現代新国語辞典』(三省堂)、『用例古語辞典』(学研)、配付プリント。				
担当教員	和田 茂俊,小笠原 愛子				
到達目標					
1、代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを的確に理解して味わうとともに、その効果について説明できる。 2、代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりできる。 3、情報の収集や構成の方法を理解し、科学技術等に関する意見や考えを効果的に伝えることができる。また、信頼性に鑑みて情報分析し、図表等を用いてコミュニケーションに活用することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
現代の文学作品の理解	文学作品を的確に理解し、描写意図を十分に説明できる。	文学作品を理解し、描写意図を説明できる。	文学作品を理解し、描写意図を説明できない。		
古文・漢文の理解	古文・漢文作品の人物や情景を十分に理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めることができる。	古文・漢文作品の人物や情景を理解し、人間・社会・自然などについて考えることができる。	古文・漢文作品の人物や情景を理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めることができない。		
情報の収集	情報の収集や構成の方法を理解し、図表等も用いて、意見を効果的に伝えることができる。	情報の収集や構成の方法を理解し、図表等も用いて、意見を伝えることができる。	情報の収集や構成の方法を理解し、意見を伝えることができない。		
学科の到達目標項目との関係					
D					
教育方法等					
概要	読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な発想・思考力、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーション能力、および主体的な表現意欲を培う。また、古典を含む文学的な文章の鑑賞をとおりて日本の言語文化についての理解を深め、感受性を培う。古文・漢文にふれ、日本文化への理解を深めるとともに、それらに親しもうとする態度をもつ。				
授業の進め方・方法	授業の進め方については講義・演習形式を併用する。				
注意点	皆さんが将来どのような職業に就くとしても、文章読解、文章表現、口頭表現の技術と、論理的かつ相対的な思考方法の獲得は必須である。もちろん、感情の理解と表出が、学校、職場、家庭などのあらゆる人間関係の基礎となるのは言うまでもない。授業を受身の姿勢で聞くだけではなく、「書く」「話す」「考える」行為を主体的に行ってほしい。さらに授業時以外でも、幅広いジャンルの読書を行なうこと。読書は最も効率的で、経済的な情報収集法であるからだ。				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング <input type="checkbox"/> ICT 利用 <input checked="" type="checkbox"/> 遠隔授業対応 <input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	現国 ガイダンス スタディサポート 古典 古典に親しむ。 ※以下、下段は古典。	これまでの国語学習を概括できる。 古典学習の意義を理解できる。	
		2週	何のために国語を学ぶか スピーチの基礎① 『宇治拾遺物語』 漢文の基礎	国語を学ぶ目的と学ぶ方法を理解できる。 古文・漢文のリズムを味わうことができる。	
		3週	日清出前一丁に学ぶ文章読解の法則① 漢字と語彙① 『宇治拾遺物語』 漢文の基礎	正確で効率的な文章読解法を理解できる。 古文・漢文のリズムを味わうことができる。	
		4週	日清出前一丁に学ぶ文章読解の法則② 『宇治拾遺物語』 漢文の基礎	正確で効率的な文章読解法を理解できる。 古文・漢文のことはリズムを楽しむことができる。	
		5週	「味」を表現する 『徒然草』 故事成語	「味」を例に、魅力的な表現を工夫できる。 古文・漢文のことはリズムを楽しむことができる。	
		6週	評論「目指す世界の地図を作る」 漢字と語彙② 『徒然草』 故事成語	筆者の主張を読み取り、社会や自然と自己の関係を見つめ直すことができる。 中世の世界観を理解できる。	
		7週	評論「「差」という情報」 『徒然草』 故事成語	論理的な文章を要約できる。 中世の世界観を理解できる。	
		8週	評論「「差」という情報」 『伊勢物語』 絶句と律詩	論理的な文章を要約できる。 歌物語の世界観を理解できる。	
	2ndQ	9週	評論「「差」という情報」 漢字と語彙③ 『伊勢物語』 絶句と律詩	情報を分析し、コミュニケーションに活用できる。 歌物語の世界を理解できる。	
		10週	小説「羅生門」 『伊勢物語』 絶句と律詩	物語の構造を理解できる。 歌物語の世界を理解できる。	
		11週	小説「羅生門」 『伊勢物語』 絶句と律詩	メタフィクションについて理解できる。 歌物語の世界を理解できる。	
		12週	小説「羅生門」 『土佐日記』 史話・思想	作中人物の心情変化を読み取ることができる。 物語の構造を理解し、古典の魅力を知ることができる。	
		13週	小説「羅生門」 『土佐日記』 史話・思想	作中人物の心情変化を読み取ることができる。 物語の構造を理解し、古典の魅力を知ることができる。	

後期		14週	現代詩読解の方法 『土佐日記』 史話・思想	現代詩の表現様式を理解できる。 物語の構造を理解し、古典の魅力を知ることができる。
		15週	試験答案返却と解説	試験による理解度点検を行うとともに、理解が不十分であった部分を補うことができる。
		16週	試験答案返却と解説	試験による理解度点検を行うとともに、理解が不十分であった部分を補うことができる。
	3rdQ	1週	詩 吉野弘、西脇順三郎ほか スピーチの基礎②	現代詩の表現様式を理解できる。
		2週	詩 吉野弘、西脇順三郎ほか 意見をまとめる	現代詩の表現様式を理解できる。
		3週	詩 吉野弘、西脇順三郎ほか 表現③鑑賞文を書く	表現の美を理解し、的確に指摘、説明できる。
		4週	評論「水の東西」	論理的な文章構成法を理解することができる。
		5週	評論「水の東西」	論理的な文章構成法を理解することができる。
		6週	評論「水の東西」	論理的な文章構成法を理解することができる。
		7週	評論「水の東西」	論理的な文章構成法を理解することができる。
		8週	評論「水の東西」	論理的な文章構成法を理解することができる。
	4thQ	9週	小説「富嶽百景」	太宰治の多層的コミュニケーション様式を理解し、他者との相互コミュニケーションへと敷衍することができる。
		10週	小説「富嶽百景」	太宰治の多層的コミュニケーション様式を理解し、他者との相互コミュニケーションへと敷衍することができる。
		11週	小説「富嶽百景」	太宰治の多層的コミュニケーション様式を理解し、他者との相互コミュニケーションへと敷衍することができる。
		12週	小説「富嶽百景」	太宰治の多層的コミュニケーション様式を理解し、他者との相互コミュニケーションへと敷衍することができる。
		13週	小説「富嶽百景」	太宰治の多層的コミュニケーション様式を理解し、他者との相互コミュニケーションへと敷衍することができる。
14週		小説「富嶽百景」 意見をまとめる	太宰治の多層的コミュニケーション様式を理解し、他者との相互コミュニケーションへと敷衍することができる。	
15週		試験答案返却と解説	試験により理解度を点検し、今後に生かすことができる。	
16週		試験答案返却と解説	試験により理解度を点検し、今後に生かすことができる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	国語	常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	前3,前9
			類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	前3,前4,前6
			社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	前5,前6,前7
			課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	前2,後1
			相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	後1,後2

評価割合

	試験60	課題40	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0